

効率とシステムサイズの関係に対する確率モデルによる考察

山崎研 M4 藤本將太郎

2015/05/01

アウトライン

卒業論文で扱った内容に関して

1 研究背景

2 作成したモデル

- カミキリムシの幼虫の食痕パターン

3 解析結果

4 まとめ

5 参考文献

研究背景

- 生物に関する興味
- アロメトリー則、ホヤの実験によるシステムサイズと代謝率の関係
- 会議やグループワークにおける参加人数と効率の関係

系

のシステムサイズが大きくなると、その特徴量がシステムサイズに比例して大きくはならず、相互作用などによって期待されるより小さな量を持つ系

カミキリムシの幼虫の食痕パターン

解析結果

テーマのまとめ

参考文献